

2018 年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会化学科 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 タルトゥ大学 社会科学部
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018 年 9 月 4 日 ～ 2019 年 5 月 31 日 出国日 2018 年 8 月 24 日 最終帰国日 2019 年 6 月 23 日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計 1,500 字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第 1・2 回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学開始前に決めた目標が、1. 英語力の向上 2. 色々な国を訪れる 3. 何にでも挑戦する 4. 日本人と一切関わらない です。結論から述べると、全てよく達成できたと感じています。まず 1 つ目ですが、主に英語話す人とかにかくたくさん話したり授業を通してスピーキング力が向上したのではないかと思います。リーディングだったりライティングなどの勉強はいつでも出来ますが、スピーキングは中々する機会が日本ではないのでとても良い機会になりました。2 つ目について、当初の目標が 10 カ国訪れるとのことでしたが最終的には 15 ヶ国訪れることができました。本当に貴重な経験になりました。この経験を通して文化の違いや世界の広さを肌で感じることができました。3 つ目、何にでも挑戦するという目標も達成できました。自分の専攻ではない授業を履修してみたり、部屋の籠らず出来る限り友達と遊びや出かける約束などしてこの 1 年間とてもアクティブに過ごすことができました。4 つ目の日本人と関わらない目標に関してですが、1 学期間は 1 回も日本語を話さず日本人とさえ 1 度も話さなかったです。2 学期では 1 人日本人の男の子が自分のフラットに越してきたため関わらないわけにもいかず、1 週間に 1 度少し話す程度に関わりました。他にも 2 学期の間は数回日本人留学生と話す機会があり、少し嫌でしたが逆に新しいアイデアや考え方をもらって良い刺激になりました。しかし基本的には話したり遊んだりすることはなく、目標は達成できたのではと思います。この 1 年間を通して留学前の自分と比べて変わったことは、何事にも積極的に取り組めるといことと怖いものがなくなったことです。全て自分の責任で生活するという環境の中でさらにたくさんの事に挑戦したので、エストニ

アでのすべての経験が自信に変わりました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

日本についてももう少し勉強しとけばよかったと思います。文化の事のみならず政治や経済についてもよく聞かれます。エストニアでは日本人はほぼいないので会う人会う人みんな日本に興味を持ってきています。答えられないことがしばしばあったのでよく調べておくことが大切だと思います。日本のみならず世界情勢やヨーロッパの歴史についての知識も必要だと感じました。日本人と違って海外の人たちは歴史の話などが好きなので多々ついていけないことがありました。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

授業によるのですが、全体的に課題の量などはそこまで多くはないのかなという印象を受けました。基本的に英語力があればついていけると思います。1つ気になっていたことが、英語が得意ではない教授が多いため、根本的に英語の聞き取りが難しいことがよくありました。その点においては高いリスニング力と教養が必要だと思います。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスがあるということではなく、街に校舎が散らばっているため、授業毎に街中を移動しなければなりません。しかし同じ学部の授業を重点的にとれば大きな移動はありません。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

大学からの留学生に対するサポートは基本的にはないと考えてください。世界各国から英語で何かを学びにきているので、英語ができるのが当たり前であってさらに優秀な生徒が多いです。しかし大学についてわからないことがあれば質問を受け付けている人がいるのでわからないことがあれば教えてくれると思います。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

ESN という留学団体が様々な留学生向けのイベント主催しています。それに積極的に参加すると交流の輪が増え、生活もより充実します。しかしどのイベントにもお酒関係がほとんどなのでお酒が苦手な人は気をつけた方がいいと思います。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

学習院大学からの奨学金を活用していました。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

タルトゥはとても治安が良いです。東京よりも安全だと思いますので心配する必要はないと思います。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 230€ 、(日本円) 約 28138 円

(3) 食事

自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 計 10~20 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

数百人の留学生が住んでいるので毎日が楽しかったです。基本的には各部屋に2人ずつで1フラット3部屋の6人で住みます。他の人との相性が良ければ良いのですが悪ければ、中々一緒に住むのは苦痛になります。学期が始まると部屋を変えることもできないので我慢するしかありません。実際、フラットメイトやルームメイトと上手くいかずに悩んでいる友達が多くいました。あと寮の管理する人や受付の人は親切ではないです。日本のような対応や礼儀は期待してはいけないと思います。

4. 費用について

(1) 学 費

学習院の学費

(2) 渡航方法と金額

飛行機 (日本円) 約 8万 円

(3) 生活費

日本円) 約 8~9万 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード/クレジットカード/現金

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

あまりエストニアでは現金は使われませんが、もしもの時のために現金は持っておいたほうが良いです。首都からバスで移動す

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

5. 保険について

(1) 保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

(2) 保険料

157,400 円

(3) 加入した保険の種類、内容

疾病治療費用保険金

(4) 感想、良かった点・悪かった点

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物/船便/SAL 便/航空便/海外宅配便/その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

参考書

現金

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

ヒートテックなどの過度の防寒グッズ

(4) 持って行けば良かったと思う物

衣服

日本の調味料

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

宿題・ジム・バスケの練習・友達と出かける

(2) 週末

宿題・ジム・友達と出かける、旅行

8. 後輩へのアドバイス等

世界中から留学生が来ているので積極的に話しかけて世界中に友達を作ってみてください。
たまに話すくらいならいいですがなるべく日本人と関わらないようにしてみてください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。